

高 鍋

議会だより

6月議会
No.134

プール大好き《明倫保育園》

防災無線 難聴地域の解消は

委員会質疑 道路維持管理の要望は

行政調査 町並み修景事業

一般質問 防災ダム下の土地利用は

2P

3P

6P

7P

防災行政無線放送施設設置工事(消防費) 2億282万円

平成25年度補正予算(肉付け)主な事業

商 工 費	農 林 水 産 業 費	民 生 費	総 務 費
☆スタンプカードイベント 補助金 220万円	☆松くい虫薬剤樹幹注入事 業委託 227万円	☆自立支援給付システム入 替業務委託 396万円	☆島田圃場跡地整備工事(駐 車場砂利舗装) 577万円
資格取得試験受験料、資格認証 登録料などを補助			
消 防 費	教 育 費	土 木 費	
☆防災士養成事業補助金 8万3千円	☆第3棟校舎屋上防水工事 (西小学校) 1052万円	☆各教室ドア改修・第2棟 中央階段床張替補修(東 中学校) 1000万円	☆舞鶴公園整備基本計画修 正業務委託 3670万円
	☆部室棟屋根改修工事(東 中学校) 703万円	☆ブール改修工事(西中学 校) 650万円	☆単独道路改良事業 正業務委託 410万円

平成25年6月・総括質疑

問	答	問	答	問	答
・堀の内地区の地区公民館大 規模改修事業について補助 要綱とは。 答・防衛施設周辺の生活環境の 整備等に関する法律において、定められた区域内にあ る公民館の大規模改修に対 して補助するもの。	・生きがいづくりだけでなく、体力づくりや健康づくりなど、参加者の中から事業継続を求める声が多く上がつたことを踏まえて町単独事業で予算を計上。	・高齢者と障がい者の居場所は、どのような考え方、要望に基づいて行うのか。	・全体計画は、親局の整備、遠隔制御設備の2箇所分、再送信子局設備が1局、屋外拡声子局37局、個別受信機1500局を整備する予定。今年度は、役場庁舎内の親局設備、遠隔制御設備2箇所及び屋外拡声子局30局の整備を行う予定。	・防災行政無線の具体的な内 容は。	・防災行政無線設置工事(消防費) 2億282万円

難聴地域の解消なるか！

6月定例議会は、11日から20日までの10日間の会期で行われました。専決2件、契約1件、条例の改正2件、意見書2件、補正予算(1号・2号)を審議しました。一般会計予算は4億8878万円を追加し、73億3478万円となりました。



意見書



◆ 30人以下学級実現への意見書を提出しました。◆

条 例

◆ 高鍋町一般職の職員の給与に関する条例等の一部改正について ◆
他、3件が改正されました。

平成25年 第2回定例会 可否表

○賛成 ×反対
(議長は表決に加わりません)

番号	件 名	賛成	反対	水町	徳久	岩崎	緒方	池田	中村	黒木	後藤	青木	永友	時任	八代	津曲	柏木	山本
議案第29号	専決処分の承認を求ることについて（専決第1号） 高鍋町税条例の一部改正について	15	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第30号	専決処分の承認を求ることについて（専決第2号） 高鍋町国民健康保険税条例の一部改正について	15	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第31号	高鍋町体育館耐震補強及び大規模改修事業建築改修工事請負契約について	15	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第32号	公益的法人等への職員の派遣等に関する条例の一部改正について	15	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第33号	平成25年度高鍋町一般会計補正予算（第1号）	13	2	×	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第34号	高鍋町一般職の職員の給与に関する条例等の一部改正について	12	3	○	○	○	○	○	×	×	○	○	×	○	○	○	○	○
議案第35号	平成25年度高鍋町一般会計補正予算（第2号）	15	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
発議第3号	年金2.5%削減中止を求める意見書	15	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
発議第4号	少人数学級の推進などの定数改善と義務教育費国庫負担制度2分の1復元をはかるための、2014年度政府予算に係る意見書	15	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

委員会質疑

問：防災行政無線が設置箇所によりハモることはないのか？
答：調査に基づき設置箇所を決定。

問：無線が農作業中などで聞こえないときもあるが対策は？
答：個別受信機で対応する。

問：スポーツ合宿の要綱は？
答：町外の団体で、町内での宿泊が原則。

問：島田圃場の竹は大丈夫か？
答：心配している。

問：町道の維持管理費は今回8路線だが要望は多いのか？
答：長寿命化計画を策定し、階段の見直し、手すり、水銀灯などの整備を行う。

問：舞鶴公園の整備基本計画の内容は？
答：舞鶴公園の整備基本計画の内容は？

問：農産加工施設の消耗品は何人分で、何を買うのか？
答：2グループで最大20人くらいでなべとかそばうちセットなど。

問：グルメガイドの掲載店の数と負担はいくらか？
答：80店を予定、負担は5千円くらい。

産業建設委員会

問：町道の維持管理費は今回8路線だが要望は多いのか？
答：昨年だけで公民館長より20数路線の要望がある。

問：サーフィンやノルディック教室の効果は？
答：バランス感覚が良くなり、手術後のリハビリなど健康づくりに役立っている。

問：学校の整備工事請負費予算の算出根拠は？
答：業者の見積もりや、町の積算システムによる。

問：太陽光発電と蓄電池の費用は？
答：発電パネルが1324万円、蓄電池は1425万円。

問：図書館で購入する宮崎日日新聞社のブルーレイディスクの効能は？
答：見たい情報が瞬時に検索や印刷が出来るし、紙媒体保管からの解消につながる。

文教福祉委員会



中村末子議員

障がい者支援政策は基幹支援相談センターを立ち上げる

町長 県下初となる障がい者基幹支援相談センターを立ち上げる。
中村 障がい者の仕事

◇住宅リフォーム事業への支援策はあるのか

中村 住宅リフォーム事業展開自治体の実績は。また、どのような効果が期待できるのか。



基幹相談支援センター



津曲牧子議員

ザ・一般質問

図書館利用者減の原因はインフラ整備の遅れ



図書館風景

◇災害への備えは

津曲 利用者から具体的な苦情はあるのか。

その対策は。

町長 駐車場、冷暖房、館内の明るさの苦情がある。利用者の状況を見ながら工夫していく。

津曲 閲覧室の新聞は宮日、朝日、日経以外に揃えることはできるか。

総務課長 2カ所について、早急に対策をつめていきたい。各家庭での食料等の備蓄のお願いの啓発をしている。

町長 検討していく。

確保に向けての支援はあるのか。

町長 公共職業安定所や高鍋地区障がい者就労生活支援センターへの相談を勧めている。

中村 子どもの障がいの早期発見早期療育への受診案内を行っている。

町長 町で行っている検診時などで支援が必要だと思われる子どもたちの家族に、医療機関、専門機関への受診案内を行っている。

中村 教育長 通級指導を行っている。

教育長 教室ではその子についた支援を行なつてある。

中村 通級指導を行なつてある。

教育長 通級指導を行なつてある。

中村 通級指導を行なつてある。



基幹相談支援センター

行政調査

産業建設 進んでいる町並み修景事業（小布施町）

◎期日・5月29日～31日

◎場所・長野県小布施町・大町市・東京大田市場

◎結果・小布施町は、四方を山と川に囲まれた長野県で一番面積の小さい行政区で、まちづくりの取り組みについて調査しました。

町並み修景事業は、新しい素材を使いながらも昔風の建物に見えるようにし、また古い建物は引き屋なども行き修復し、町並みと路地の整備を進めてきました。

そして、「うるおいのある美しいまちづくり条例」など多くの条例を策定し、景観づくりの指針を示しながら景観行政団体となり、町並み修景事業が今も進んでいます。

現在、約120カ所で行われているオープンガーデンについての条例を策定し、景観づくりの指針を示しながら景観行政団体となり、町並み修景事業が今も進んでいます。

2日目は、北アルプスの麓に立地し豊かな湧水に恵まれた大町市で、用水路を活用した小水力発電について調査しました。

昭和電工が発電を利用した後年に流している農業用水を分水利に用し、町川発電所がつくられました。平成17年に新エネルギー

ビジョンが策定され、平成19年度から基本設計を始め、平成22年4月より運転を開始しています。総工費1億6000万円ですが、新エネ財團補助金や合併特例債もあり、市の負担はわずかで済んだそうです。



長野県小布施町で景観作りにおけるオープンガーデンの調査

◎期日・5月15日～17日

◎場所・長野県下諏訪町・池田町・東京都日の出町

◎結果・1日目は、下諏訪町の保健補導員活動について調査

長野県の保健補導員は結核、赤痢等の伝染病や乳幼児の死亡が多い戦前戦中の劣悪な衛生環境を改善するため昭和20年に生まれました。保健婦が孤軍奮闘している姿を見ていた地域の主婦たちが少しでもお手伝いをしようと自主的に呼びかけ、自分たちの健康を守るためにには、まず自主的学習をすることが大切であると

保健活動を開始したのが始まりとの説明でした。

下諏訪町保健補導委員会は平成23年に50周年を迎えた。高齢化率は32%を超えており少子高齢化が進んでいる町で、将来を見据えて人と人とのつながりを一番に支えているこの保健補導員会をさらに醸成したいという思いで活動しています。

2日目は池田町で、20歳から39歳の若い人を対象に特定健診を実施、自覚のないまま進行する生活習慣病を予防していく「ヤング健診」を立ち上げました。

今後は、小中学生に対して親の同意を得て生活習慣病を見据えた血液検査及び保健師による学校での保健指導を考えています。

3日目は東京都日の出町独自の福祉政策について調査。子供と青少年にやさしいまちを実現するために、「こども・青少年育成基本条例」を制定しています。

◎期日・5月15日～17日

◎場所・長野県下諏訪町・池田町・東京都日の出町

◎結果・1日目は、下諏訪町の保健補導員活動について調査

長野県下諏訪町の保健補導員活動について調査